

「自由な時間の拡大」こそ「人間らしく生きる」 ことへつながる

日本が直面している課題

長時間労働によって“過労死”が生まれる。高すぎる学費のもと学生が深夜バイトに追われる。働く女性の労働時間と家事時間は10時間を超え、睡眠時間が世界でも最も短い——日本が直面している課題です。労働時間を短縮して「自由な時間」を拡大していくこと、いまの私たちの課題です。



もとむら伸子衆院議員

若者と対話

「共産主義には自由がない？」

「共産主義こそ、『人間の自由』が豊かに開花する社会です」

日本共産党は、「人間の自由」と社会主義・共産主義について3つの展望を考えています。

①「利潤第一主義」からの自由です

「利潤第一主義」から自由になることで、人間は貧困と格差から自由になります。繰り返される恐慌や気候危機など、「あとの祭り」の経済から自由になり、人間の自由を拡大する社会になります。

②「自由で全面的な発展」が保障された社会をつくることです

マルクス、エンゲルスは「各人の自由な発展が、万人の自由な発展のための条件であるような一つの結合社会」と社会主義・共産主義社会を特徴づけました。そして、どうしたらすべての人間が「自由で全面的な発展」が保障されるような社会をつくることができるだろうか、生涯にわたって探求しつづけました。そして、資本主義的搾取によって奪われている「自由な時間」を取り戻し、拡大することによって、「人間の自由で全面的な発展」を可能にする社会をつくらう、とメッセージを発しました。

マルクスの解明は日本の現実のなかで、労働時間短縮のたたかいを大きくはげましています。

③発達した資本主義のゆたかな可能性の存在です

日本共産党は2020年に改定した綱領で、発達した資本主義がつくりだし、未来社会に継承・発展させられる「5つの要素」を発表。

①高度な生産力、②経済を社会的に規制・管理する仕組み、③国民の生活と権利を守るルール、④自由と民主主義の諸制度と国民のたたかいの歴史的経験、⑤人間の豊かな個性



すやま初美比例予定候補

旧ソ連の歴史的失敗は

旧ソ連の歴史的失敗は、指導勢力の誤り、「革命の出発点の遅れ」がありました。発達した資本主義を土台にして社会変革をすすめるという日本共産党の事業こそ、「自由で全面的な発展」を可能とする社会づくりへ真の輝きを放つと確信しています。

比例東海2議席以上の実現へご協力を

比例東海ブロックニュース【2024年9月号外】日本共産党の見解を紹介します。

発行：日本共産党国会議員団東海ブロック事務所 〒460-0007 名古屋市中区新栄3-12-25 TEL.052(264)0833 FAX.052(264)0850



東海ブロック
ホームページ